

令和5年度学校関係者評価表

<学校経営ビジョン（めざす学校像）>

【学校スローガン】「海に学び 海をひらき 世界にはばたく」
 生徒一人一人を大切にすることで、生徒がお互いを尊重し合い、支え合い、高め合う雰囲気を醸成し、基礎学力と確かな技能、豊かな人間性、規範意識を着実に身につかせ、生徒の能力・適性を生かした進路を実現することにより、生徒・保護者・地域・企業の願いに応え、信頼される魅力ある学校をめざす。

令和5年度の重点目標

- ①生徒にとって安心・安全な学習環境の確立（予防的視点による一致協力した生徒指導）
 多様なニーズに対応した支援体制の充実等、主体的な生徒会活動の促進、乗船実習時の良好な人間関係の構築、新型コロナウイルス感染症対策等への適切な対応と周知徹底、外的常時指導、授業規律の確立、18歳青年への自覚と対応
- ②産業教育審議会答申の具現化（様々な変化への対応と改善による教育力の向上）
 質の高い専門教育・実習船教育等の推進、教育の情報化・ICT活用の促進、DX関連の有効活用等、各種コンテスト・生徒発表会等への積極的参加、学習評価の検証と改善、R6年度以降の教育課程・クラス編成・乗船実習計画の策定、早期離職者を出さない方策や進路決定率100%達成のための進路指導の在り方の研究
- ③水産・海洋教育の魅力の発信（広報活動の改善・充実による入学者増）
 バリエーションに富む学習内容と多種多様な資格取得と幅広い進路選択の周知徹底、HPの充実等
- ④新船「第6代進洋丸」の有効活用の促進
 学校における実習船教育や関係機関等との連携による活用促進、県民の船としての活用促進

評価段階 A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分

重点目標	今年度の目標（取組）	自己評価	関係者評価
① 生徒的視点によって安心・安全な学習環境の確立（予防的視点による一致協力した生徒指導）	予防的視点による一致協力した生徒指導（ハンドブックの周知・個別面談や集会・放送や連絡メール）	C	B
	自尊感情の醸成と規範意識の確立（主体的な生徒会活動・校則見直し委員会の活性化・部活動に係る規定見直し）	B	
	感染症対策を中心とした自身の健康安全に対する実践力を養成する（感染拡大防止対策指導を状況に応じて継続して行う）	B	
	環境の整備を行い、安全教育・安全管理に努める（早期対応により感染拡大防止に努める・校内整備と清掃用具の交換を行う）	A	
	実習船教育を通じた人格の陶冶（教育相談部との連携強化により多様化した生徒の理解や指導方法について情報共有）	C	
	教育相談の充実（各会議等での情報収集・アンケートや面談の実施・職員研修による資質向上）	B	
	特別支援教育の推進（中学校・保護者・関係機関との連携・実習船室との連携・ユニバーサルデザインの利用促進）	B	
危機管理体制の構築（施設・設備の保全・安全性確保）	B	B	
② 産業教育審議会答申の具現化（様々な変化への対応と改善による教育力の向上）	教育の情報化及びICT活用の促進（ICT活用チャレンジ週間等を通して職員のICTに関するスキルアップ及び教育の情報化を図る）	B	B
	進路目標の実現及び社会人としての資質を育成する（進路決定100%を達成する・早期対策を含めた進路面談と職場見学をさせる）	B	
	資格取得指導体制の構築と資格取得合格率のアップ（検定日の周知・職員間の連携・受験意識の高揚）	B	
	読書活動の推進（朝の10分間読書を全職員で取り組む）	B	
	1人1台学習用端末の活用促進（職員研修の実施・他校との情報共有・アカウントの整備・生徒へのルール周知）	B	
学びに向かう「学習力」の育成（MSECフォーラムや課題研究発表会を通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につけさせる）	B	B	
③ 水産・海洋教育の魅力の発信による入学者増への取組	広報活動の改善・充実による入学者増への取組（各中学校へ学校紹介のチラシを配付・学校説明会の依頼がない中学校へ説明の場を求める）	A	A
	学校HPによる定期的な情報発信およびHPの充実・SNSを利用した動画及び学校日誌投稿の充実	A	
④ 新船「第6代進洋丸」の有効活用の促進	第6代進洋丸の有効活用の促進（関係機関等との連携・県民の船としての活用と促進）	B	A
	新カリキュラムへの準備対応（新カリキュラムに向けて、乗船実習年間計画の見直しを行う）	B	

